

2024年度通常総代会報告書

5月22日、北海道大学クラーク会館講堂において、北大生協2024年度通常総代会が対面にて開催されました。総代会は、実出席59名および書面出席104名、委任1名による総代の皆さんの出席により開催要件を満たし、賛成多数によってすべての議案が決定承認されました。また各店舗の職員を交えて総代の皆さんと様々な意見交換を行い、日頃生協を利用している立場から貴重なご意見をたくさんいただきました。



- 第1号議案 2023年度事業報告書および決算関係書類等承認の件
- 第2号議案 2024年度事業計画及び予算決定の件
- 第3号議案 役員報酬限度額決定の件
- 第4号議案 議案決議効力発生の件
- 役員選挙

すべての議案が賛成多数で可決されました。
また役員候補者は全員当選となりました。

**昨年総代会で決定した「北大生協再生三か年計画」に沿って
累積赤字の解消をめざします。**

議案の採決結果と出席者数

議案の採決結果

議案の採決結果 出席総代数 164 名（うち実出席数 59 名）

総代選出状況

選挙区	定数	選出数	選出率	本人出席	代理出席	書面出席	出席合計	参加率
学部1年生	150	61	98.7%	38	1	21	60	98.4%
学部上級生		87		5	0	33	38	43.7%
大学院生	40	16	40.0%	11	0	5	16	100.0%
教職員	60	46	76.7%	3	0	38	41	89.1%
生協その他	10	9	90.0%	2	0	7	9	100.0%
	260	219	84.2%	59	1	104	164	74.9%

- 学部1年生の総代選出は昨年同様、複数人を選出したクラスがあったためクラス数より多くなりました。学部上級生はほぼ昨年同数です。院生総代は2020年入学の内部進学で総代がコロナのため非常に少ない学年のため昨年より減少し、全体としては昨年の選出数（233名）より少ない選出でした。

5月2日 最終

選挙区（人）		2024定数	2024選出数	2023	2022	2021	2020	2019
学部生	1年生	150	61	63	52/52	52/52	0/52	52/52
	2年生以上		87	86	64/98	40/48	60/90	66/90
大学院生		40	16	26	23/40	23/50	37/50	29/50
教職員		60	46	48	48/60	52/60	54/75	54/75
生協職員その他		10	9	10	10/10	5/10	7/7	7/7
合計		260	219	233	172/260	172/220	158/274	208/274

- 全議案全て賛成多数で可決決定されました。

【議案表決結果】

議案	保留	反対	賛成
第1号議案 2023年度事業報告書および決算関係書類等承認の件	4	2	157
第2号議案 2024年度事業計画及び予算決定の件	6	0	157
第3号議案 役員報酬限度額決定の件	2	5	156
第4号議案 議案決議効力発生の件	5	1	157

※ 議長は採決者数に加わりません

2024 年度総代会の議事の概要

【2024 年度 通常総代会】

開催日時：2024 年 5 月 22 日（水）18:30～19:15

開催場所：北海道大学 クラーク会館 講堂

出席総代：本人出席 59 人・代理人出席 1 人・書面出席 104 人 合計 164 人

出席役員：坂爪浩史 理事長、齋藤真廣 専務理事、田代直也 常務理事、渡邊稀羅 常務理事、石本万象 常務理事、野呂香綸 理事、石田きなり 理事
芳賀 永 監事会議長、岡野泰樹 監事

議長：佐藤 李音（学部生総代）

書記：戸松陸（学部 3 年）、田中丈翔（学部 2 年）、興野周太（学部 2 年）

議事運営委員：渡邊稀羅（常務理事）、寺澤一彦（生協職員）

昨年に引き続き、総代会を対面開催いたしました。会場は今回初めてクラーク会館の講堂をお借りして行いました。

学生、院生、教職員をはじめ、オブザーバーも含め多くの実出席で開催することが出来ました。実出席総代は 59 名、書面出席は 104 名の他、オブザーバーも 30 名ほど参加いただきました。採決の結果、すべての議案が賛成多数にて決定承認されました。

当日総代からの発言もあり、また事前に多くの意見（「意見書」後掲 P5）もいただいて、積極的なご意見をいただいた総代会となりました。



【議事（Aパート）について】

【第1号議案 2023年度事業報告および決算関係書類等承認の件】

- 2023年3月から2024年2月までの北大生協の事業と経営結果の妥当性について確認され、2023年度に生じた損失の処理方法についても承認されました。
- 当期末処理損失金1億4,032万円を2024年度に繰り越す事が承認されました。

渡邊稀羅 常務理事より2023年度の組合員活動報告及び事業活動報告、決算関係の報告があり、また芳賀永 監事会議長より監査報告があり、過半数の賛成により原案どおり可決承認されました。（賛成157、保留4、反対2）

【第2号議案 2024年度事業計画及び予算決定の件】

- 2024年度の事業方針とその計画の供給予算、損益計画を決定しました。

渡邊稀羅 常務理事より2024年度事業計画及び予算決定の件について提案され、過半数の賛成により原案どおり可決決定しました。（賛成157、保留6、反対0）

【第3号議案 役員報酬限度額決定の件】

- 役員（理事・監事）の役員報酬の限度額を決定し、その運用については理事会・監事会に委ねることが承認されました。

齋藤真廣 専務理事より、役員報酬限度額決定の件について提案され、過半数の賛成により原案どおり可決決定しました。（賛成156、保留2、反対5）

【第4号議案 議案決議効力発生の件】

- 議案の本誌に反しない範囲の字句の修正を理事会に一任することが承認されました。

齋藤真廣 専務理事より、議案決議効力発生の件について提案され過半数の賛成により原案どおり可決決定されました。（賛成157、保留5、反対1）

【役員選挙】

理事及び監事全員が本総代会の終了をもって任期満了退任となるため、2024年度役員選挙をおこないました。

役員選挙管理委員会 片木委員より、『役員選挙規約に従い公告期間に受付た候補者は理事会推薦のみであり、定数内（理事25名、監事4名）のため、投票は省略し候補者は全員当選とする』旨の説明があり、拍手で確認されました。

【交流会（Bパート）について】

総代会終了後、クラーク食堂に移動して、グループに分かれて総代と生協職員との意見交流会（Bパート）を開催しました（下記参照）。

Bパート（議案や要望を深める生協職員との意見交流の場）では、50名以上の総代と、オブザーバーのみなさんの参加がありました。テーブルは「食生活」「健康と暮らし」「受験生活」「新生活」「アルバイト・進路・就活」「社会と環境」のテーマを設定し、興味関心に沿って自由に分かれて交流しました。それぞれ軽食をとりながら、総代同士、また総代と生協職員とで活発な意見交流が行われました。各グループでは生協学生組織委員が進行役となり、また関連する店舗の生協職員とが、都度総代からの質問にお答えし、もっとこうしてほしいといった総代からの意見が出されました。ここで出されたご意見・ご質問等は、理事・組織委員会・生協職員により、今後の生協運営に活かしていきます。

交流会での特徴的な意見

【食生活】

- ・一人暮らしだと、安価な鶏肉ばかりになってしまうので、最近魚料理が食べたい。食堂でも食べている。
- ・食堂利用は週に3,4日（一人暮らし、学生会館）。それ以外は午前（午後）休みなため、家に帰って食べている。
- ・食事のバランスは考えようとはしているが、特に野菜などは一人暮らしだと使い切らないため、結局買わなくなっている。

【健康と暮らし】

- ・6時間睡眠。予定が詰まっていると、4時間睡眠になりがち。授業中は手を動かすことで眠さをしのいでいるが、それでも眠気いつも戦っている。
- ・受験期までは21:30就寝。7:00起床であったのに、大学生になってから、23:00就寝と遅くなってしまった。
- ・総理で成績を気にする必要があったり、履修の関係で毎週9個ほど提出すべき課題があったりするおかげで、勉強面が忙しい。入学前のイメージと全然違った（総合理系；学士1年）。

【受験生活】

- ・後期合格前予約で、不合格だった人の枠がたくさん空いていて、部屋探しは迷わなかった。
- ・地方大会まで部活があったため、受験勉強を始めたのは9月からになった。

【新生活】

- ・買った食べ物の消費期限が思ったより早く過ぎて行ってしまった。
- ・入学したての頃に喋った人と会っても名前が思い出せない...見かけてもどこであった人が覚えてない(基礎クラスか、新歓か、どの授業か...など)



- ・履修登録は、学部・部活の先輩に聞いた。同じ母校(高校)の先輩と繋がれて、教えてもらった

【アルバイト・進路・就活】

- ・塾の講師をやっている。
- ・みんなバイト自体はやってみたいという気持ちがある。
- ・教職をとることについての不安はある。
- ・院進するか否か、就職についての考えは、まだそういった意識はほとんどない。



【社会と環境】

- ・リ・リパックの回収率が4割程度なのは少ないと感じる。
- ・現状よりもさらに大々的に報告すべきである。
- ・自身が環境に配慮して特別なことをやろうとしても、個人の動きでは環境問題が原因の一つと考えられている天変地異を防ぎきることは出来ないのではないかという無力感を覚える



2024 年度 役員一覽

2024 年度の理事・監事は通常総代会において決定就任し、その後の第一回理事会及び第一回監事会において、役職について互選され決定しました。

2024 年度 理事・監事 名簿

理事会				
	役職	氏名	所属	備考
	理事長	坂爪 浩史	農学研究院 教員	
	専務理事	齋藤 真廣	生協職員	
	常務理事	金川 眞行	事務局総務企画部総務課 職員	
	常務理事	小川 美香子	薬学研究院 教員	
新任	理事	小田切 和博	北キャンパス合同事務部 職員	
	理事	佐々木 好美	工学系事務部 職員	
新任	理事	渡部 典大	工学研究院 教員	
	理事	今村 央	水産科学研究院 教員	
	理事	林 忠一	北方生物圏フィールド科学センター 職員	
	理事	ゴリー 紀代	保健科学研究院 教員	
	常務理事	奥山 莉子	院生（工学院修士 2 年）	
	常務理事	野呂 香綸	院生（総合化学院 修士 1 年）	
	常務理事	石本 万象	院生（文学院 修士 1 年）	院生委員長
	常務理事	渡邊 稀羅	学生（農学部 3 年）	元学生委員長
新任	常務理事	櫛井 太智	学生（法学部 2 年）	新学生委員長
新任	理事	長野 優輝	院生（経済学院 修士 1 年）	留学生委員
新任	理事	荒金 晋太郎	学生（水産学部 4 年）	
	理事	羽木 康祐	学生（法学部 4 年）	
	理事	田代 直也	学生（工学部 4 年）	
新任	理事	杉山 雄介	学生（文学部 3 年）	体育会
	理事	石田 きなり	学生（文学部 3 年）	
新任	理事	寺垣 穂香	学生（文学部 3 年）	
新任	理事	松田 和歩	学生（農学部 2 年）	
新任	理事	山下 匡隆	学生（法学部 2 年）	
新任	理事	栗栖 櫻蓮	学生（工学部 2 年）	
監事会				
	役職	氏名	所属	備考
	監事会議長	芳賀 永	先端生命科学研究院 教員	大学推薦
	監事	岡野 泰樹	経済学研究院 教員	
	監事	中村 拓也	院生（総合化学院 修士 2 年）	
	監事	山崎 瞳子	院生（生命科学院 修士 1 年）	

順不同

当日の発言と回答

下記の通り当日発言通告がありました。

《通告項目について》

総代会当日に出された質問や意見に対し、当日会場での齋藤専務からの回答をもとに加筆修正しています。

<発言内容> 質問「第一号議案「組合員の声を聞く」というのが十分なされていない」

「第二号議案ミールプランの正しい運用法について」

学部生総代より

第一号議案

I. 事業報告書 2-2 事業計画による振り返り 1-1 組合員の声を集める活動を進めます。

私はミーティングで、食堂のレシートを原則発行しないようにして、環境に配慮したほうが良いと提案した。しかし結果として実現されたのは「レジにレシートを捨てる箇所を設ける」という方法だった。

その箱には「組合員の声により設置されました。」と書いてあった。これで組合員の声を集めたと言えるかは疑問である。また返却口にレシートを捨てられる場所があるにも関わらず、このような方法をなぜ取ったかについても質問したい。

第二号議案

[2] 2024 年度全体方針 1. 北大生協3つの使命 [2] 事業課題の5つの再生ポイント 2. フードサービス事業の再生

ミールプランは「バランスの良い食事のための食費の確保を目的としている」とあった。もしそうであるならば、なぜミール飲料を廃止したのか説明して欲しい。麦茶や緑茶の水分確保に、野菜ジュースや牛乳は不足する栄養の補助に優れる。これを廃止するのはミールプランの目的に反するように思う。また廃止する理由として、ミールプランの600円以内に会計を押しさえられるようにするためだといったものが挙げられていた。ならば廃止すべきはソフトクリームやコップパンではないか。どちらも単価が高く、コップパンでも1個150円以上である。これらはミールプランで対応すべきではないし、栄養もさほどない。もう一度ミール飲料の廃止について考え直すべきであると考える。組合員にアンケートを取るなどしてほしい。

A. レジのレシートが出てくるところの近くにレシートのごみを入れる箱を設置して欲しい。という要望は、昨年度の総代会のご意見でいただき、その声にごたえて設置したものととなります。昨年度の総代会報告にも掲載させていただきます。

また、食堂のレシート原則発行無しについて

昼ピーク時以外はほぼすべてのレジで現金併用となっており、現金決済ではレシート以外には購入履歴を確認する術がないことから、その部分についてルールと運用の調整を行い、検討したいと思います。

ミールプランを設定した当初は飲料の利用を不可としていました。その後、組合員からの要望を踏まえ、当初は牛乳と野菜ドリンクのみを対象としその後ペットボトル飲料にも拡大し、食事と同時に購入する場合1本迄利用可能というルールのもと、ミールプランで飲料の購入を可能としてきました。今年度、ミールプランで飲料購入不可と

した主な理由は以下の通りです。

- ・飲料のミールプラン利用は食事の際に 1 本迄というルールにしていたが、昼の混雑時にはルールを徹底が出来なかったこと。飲料の利用が増えると、さらにミールプランの価格を上げる必要が出てくると想定したこと。
- ・2023 年上期の北部店のミール利用者平均単価は 615 円でした。この間の、食材価格高騰によるメニューの値上げにより、利用単価が上がると想定され飲料を対象にすると、600 円ではバランスの良い食事を提供できないと考えたこと。

今年からは購買部で販売している内製弁当、ベーグルサンド、コップパン、サラダもミールプランを利用拡大している件については、忙しくて食堂によることが出来ない方に対しても食事をきちんと提供いただける環境を作ることを目的としました。

以上を踏まえ、ミールプランの飲料購入については見合わせているとご理解ください。またソフトクリームは食事と一緒に購入することを想定しておらず、食堂滞留時間を長くしたいという目的もありミールプラン対応にしています。

<発言内容> 質問 「基本方針 1 を通した売上への貢献と課題」 院生総代より

「組合員どうしのつながり」について

ミーティング内で生まれた提案を行った成果や結果について教えてほしい。今後、展開していくにはどのような課題があって、他の学部で行っていくか？学部生・院生組合員に対して求めることがあれば、提言願いたい。

A. 昨年実施の工学部ミーティングについて、30 名を超える組合員が集まっていただきました。

食堂メニューの開発を参加した組合員の意見で行い、実現しました。メニューは好評です。

ミーティングに参加した学生に感想を聞いてみたところ、「自分の意見を言う場があることは楽しいことだった」「ほかの人たちと意見を交わしながら実現していく過程が楽しかった」という声が寄せられました。

学部生、院生に対しては、学生（新入生・受験生）への対応は手厚い一方、研究者（院生・教授）への対応は薄いと考えているところです。今後はもっと、院生や教職員の立場からの意見や声を集めて研究者のみならずにも使いやすい、もっと役に立つ生協にしていきたいと考えていますので、ぜひ生協に対しての声を、様々な場面でお寄せください。

事前にいただいたご意見に答えて

事前にいただいたご意見、ご質問がありました。下記の通り回答させていただきます。

Q1. 意見というより、生協について教えていただきたいです。

- ① 赤字分のお金は誰が払っているのか
- ② 人件費を削減する予定はあるか
- ③ ミールプランをする生協側の利点は何か
- ④ ミールプランが GW 中に 600 円？ 1200 円？ チャージされていたことがあったが、休日の食堂営業が無い日もミールプランの休日判定はどうなっているのか
- ⑤ 冊子に書かれているかもしれないが、1 億もの赤字をどう無くすのか。夢物語でない計画はあるのか
すごく変な質問だとは思いますが知りたいです。

(学部生総代より)

A 1.

- ① 赤字分 = 当期末処理損失金として繰り越しをしております。資金繰りは問題なく行うことが出来ています。繰り越ししている未処理損失金を 1 年でも早く 0 にし健全な経営を行いたいと考えています。
- ② 調理する人員を集中させることを目的として、3 月から食堂部でセントラルキッチン稼働が開始しました。また、購買部門でも発注などの業務を集中させて行う、購買本部機能を導入しました。調理や発注など、業務を集中させることで人件費の効率を上げて運営を進めていきたいと考えています。
- ③ ミールプランを申込、ご利用いただくことで生協側としては一定数の毎日食堂、購買を利用していただけるヘビーユーザーを確保することができます。
- ④ ミールプランのシステム上、利用可能日設定を曜日単位でしかできないため、平日の祝日についてはチャージされてしまうのが現状です。ご不便をおかけしますが、ご理解をお願いいたします。
- ⑤ 2023 年度総代会で議決を頂いた、再生 3 ヶ年計画に沿って店舗への利用結集をいただきながら、効率的な店舗運営を行い、累積欠損金を減らしていきたいと考えています。具体的には「新学期事業」「フードサービス事業（食堂、購買の食品）」で利用結集を進め、「書籍部損益構造改善」「学部店損益構造改善」で効率の良い運営を進めていきます。

Q2.

- ① 生協アプリのエラー、起きすぎだと思います。昼時レジでの混雑緩和のためにもシステム改善をよろしくお願いいたします。
- ② 生協に対して学生がもっと気軽に意見を言える機会がほしいです。
(ここで言うべきことではない気がしますが…すみません)

(学部生総代より)

A 2.

- ① ご迷惑をおかけして申し訳ありません。全国で運用しているシステムということもあり、エラー改善については全国の事務局にも都度要望しており、改善してきているところです。
- ② 昨年度から組合員店舗ミーティングといった機会や、総代のつどいなどを開催しており、気軽に意見を言える場をこれからも設けていく予定です。ぜひご参加ください。

Q3.

- ① 食堂のメニューの値段をもう少し下げしてほしい。
- ② 購買の「ほくて」をもっと長い時間販売してほしい。

(学部生総代より)

A 3.

- ① 食材の高騰、運送に関わる人員不足による運搬料の高騰が主な原因で食堂のメニュー価格にも影響しております。可能な限り安価で提供したい気持ちはございますが、現状よりも価格を下げての提供は難しいのが現状です。
- ② 本年5月13日(月)より昼時間帯の販売を始めました。大変ご好評いただいております。12:30頃に完売となる日が続いております。今後数量を検討して参ります。

Q 4.

友人の中に生協購買に給湯ポットを置いてほしいという人がいました。

(学部生総代より)

A 4.

給湯ポットの設置ですが、過去に残りをトイレに流して詰まらせる、スープで洗面台を汚すなどの行為が繰り返されたため、現在は設置を見合わせております。ご不便をおかけしております。

Q 5.

ミールプランに加入したのに、食堂が混んでいて使わない日がでてきてしまうのがもったいないという声をきいた。ミールプラン用の「混まない会計所」も設置したらいいと思う。食堂のメニューの値段をもう少し下げしてほしい。

(学部生総代より)

A 5.

ご意見ありがとうございます。過去にミールプラン専用のレジを用意しましたが、結果的には友人と並んでいるからなどの理由でミールプラン専用のレジの利用は少なく他のレジの混雑に繋がってしまいました。また、現在は恐らくレジよりも配膳での列で混雑を感じるのかと思われます。ミールプラン専用レーンなど含め検討いたします。

Q6.

ミールプラン（600円プラン）に加入しておりますが、ミールプランはなぜ未使用の額を繰越できないのでしょうか。詳細な理由をプラン加入時に提示した方がよいのではないのでしょうか。

(学部生総代より)

A 6.

バランスの良い食事をとるために平均単価から1日の利用金額を設定しています。その金額をご利用いただくことを前提に、購入金額を試算し決定を行っています。毎日、600円を目標にご利用いただくことが重要と考えています。

Q 7.

昨年までと同様に、ミールプランでお茶などの飲料を購入できるようにしていただけると幸いです。また、ミールプランの価格（1日当りに使える金額）を利用者自身で設定できると利用者の増加につながると考えます。ご検討の程よろしく申し上げます。

(学部生総代より)

A 7.

ミールプランを設定した当初は飲料の利用を不可としていました。その後、組合員からの要望を踏まえ、当初は牛乳と野菜ドリンクのみを対象としその後ペットボトル飲料にも拡大し、食事と同時に購入する場合1本迄利用可能というルールのもと、ミールプランで飲料の購入を可能としてきました。今年度、ミールプランで飲料購入不可とした主な理由は以下の通りです

飲料のミールプラン利用は食事の際に1本迄というルールにしていたが、昼の混雑時にはルールを徹底が出来なかったこと。飲料の利用が増えると、さらにミールプランの価格を上げる必要が出てくると想定したこと。

・2023年上期の北部店のミール利用者平均単価は615円でした。この間の、食材価格高騰によるメニューの値上げにより、利用単価が上がると想定され飲料を対象にすると、600円ではバランスの良い食事を提供できないと考えたこと。

今年からは購買部で販売している内製弁当、ベーグルサンド、コップパン、サラダもミールプランを利用拡大している件については、忙しくて食堂によることが出来ない方に対しても食事をきちんと提供いただける環境を作ること目的としました。

以上を踏まえ、ミールプランの飲料購入については見合わせているとご理解ください。

Q 8.

① (北大構内マップ、学部棟内マップ、AED及び消火器設置場所案愛マップ)

学部棟内には場所がわからない教室や、行きたいのに通路が繋がっていない場合や倒木などで通れなかったりするので詳細なものを用意してほしい。

② (生協の本屋にて欲しいものを取り寄せて安く買う)

資格対策やコミック、小説だと種類が物足りず、取り寄せをしたい。またその時生協会員は買えたり何か特典があるといい。

③ (生協のパソコンには良いイメージがないのでバリエーションを増やしてほしい)

専門の人や家電量販店のマネージャーのように細かくニーズに合い、長い目で考えて提案できる様子を配備してほしい。

④ (部活やサークルの合同イベント、企画)

部活、サークルは新刊活動、製本等に関わりがあるものの、どちらも大学所属同士なのに交流がうすい。物品を扱うまではいなくても、体育会との連携があると良いと思う。

⑤ (OB, OGとの関係連携)

生協にお世話になったOB、OGなどもあるかと思うので、寄付という形だけではなく就活、院進、博士課程等、相談可能な窓口をOB、OGに願います。オンライン形式などもありだと思ふ。

(学部生総代より)

A 8.

- ① 大学の建物や設備の案内については、生協ではなく大学の管轄ですので、大学の方にお伝えいたします。
- ② 組合員証をご提示いただくとおおよそ 5%分のポイントを還元しています。アプリなど電子マネーでご購入の場合はさらに 0.5%付与され合計 5.5%還元しております。
- ③ 全店舗に専門知識をもったスタッフを配備することは難しい状況ですが、外売店という店舗では専門知識を持ったセールスがおりますので、お伺いしご要望にあったご提案をさせて頂きたいと思ひます。
- ④ 体育会役員からも昨年度から、北大生協理事になっていただくようになりました。体育会所属団体と連携を進めていけるようにいたします。先ずは、来年度に北大が主管となって開催される七大会を体育会と成功に向けて協力したいと考えています。
- ⑤ 公務員講座では生協公務員講座出身のOB・OGとのつながりを活かした相談活動を行っており、生協の公務員講座を選択していただく一つの材料となっています。さらにOB、OGとの連携、相談窓口としての役割を担っていただくつながりを強化していきたいと思ひます。

Q 9.

- ① ソフトウェア（生協アプリ）導入の目的、ねらいとその達成状況を教えてください。混雑緩和等が目的であるとすれば改善には至っていないのでは…？
- ② クレジットカード、電子決済（Paypay 等）を推進してほしいです。工学部食堂のSteraを二台にして下さい。
- ③ 貸借対照表の無形資産ソフトウェアとは何ですか？元々いくらで作ったものですか？
- ④ 貸借対照表の借入金(短期)1億円は誰から借りたものですか？金利は？
- ⑤ 損益計算書で支払金利はなしでしょうか？
- ⑥ 人件費削減の取組みはありますか？

(院生総代より)

A 9.

- ① 大学生協アプリなど新システムを導入した経緯としては、以前まで使用していたシステムの使用期限が2022年12月で終了することが決まっており、従来通りのシステムを導入した場合に係る90億の費用負担を行うことが大変難しく、費用効率を考えた新システムを導入することを決めました。ここ5年間の開発費用と運用費用の北大生協以外も含む全体の合計は73.2億円となり、新システム導入により16億程度削減することが出来ました。2023年導入当初はシステム障害が多発したため、決済では非常にご迷惑をおかけしましたが、現在では従来のシステムとほぼ同様のレジスピードを実現することが出来ています。しかし、システム障害が0になったわけではなく4月にも連続で障害を発生させてしまいました。現在、改めて再発防止を行っております。
- ② クレジットカード、生協電子マネー以外の電子決済は手数料がかかっており、実際に生協の経営にも大きな影響を与えている状況となっています。決済方法の多様化による利用促進も検討が出来ますが、生協電子マネー決済をご利用いただくようお願いいたします。
- ③ 償却が終了していない無形資産ソフトウェアと導入費用は以下の通りです。
総務オフィスソフト（officeの一括購入費）1,806,000円（2024年償却60,200円）

校費システム納品照合表改修 1,650,000 円 (2024 年償却 110,000 円)

受験生管理システム構築 1,580,000 円 (2024 年償 383,834 円)

退会処理機能追加 500,000 円 (2024 年償却 50,000 円)

名刺印刷プログラム 354,000 円 (2024 年償却 70,800 円)

- ④ 関連団体「大学生協事業連合」への未払い買掛金（支払いの延納）として借り入れています。
- ⑤ 19,270 円を雑損失計上しています。借り入れの平均利率は 0.060%です。
仕分け処理のミスで雑損失計上となっていることがわかりました。2024 年度は支払金利として処理を進めます。
- ⑥ 調理する人員を集中させることを目的として、3 月から食堂部でセントラルキッチン稼働が開始しました。また、購買部門でも発注などの業務を集中させて行う、購買本部機能を導入しました。調理や発注など、業務を集中させることで人件費の効率を上げて運営を進めていきたいと考えています。

Q 1 0 .

書籍・旅行などの収入の見込み、利用が少ない事業の見直しを。声により事業の見直しを行うことについては良い事であるが、ある程度の収入が見込まれない部分への参入は行わず、事業の整理を行うべきであろうと考える。

(教職員総代より)

A 1 0 .

書籍は 23 年度 3 億 1,300 万円のご利用をいただき、最終 700 万円の赤字で決算しました。昨年 9 月以降研究室訪問の中止、生協職員数の見直し等を行い 24 年度は収支均衡の予算を組みました。従来の教科書のみならず、新入生の申込みが増えている英語講座等を念頭に学内の学びをひろくとらえて事業を組み立てます。旅行はコロナ禍の苦境を脱し、23 年度 1 億 9,851 万のご利用をいただき、最終 1,540 万円ほどの黒字で決算しました。出発空港に係員を配置しての受験フライト宿泊は多少高くても安心して受験を迎えたい受験生と保護者のかたに好評です。今後は講座事業と連携して留学・語学研修を支える事業をすすめます。

Q 1 1 .

「事業活動に大きな影響がある環境変化」(P.42)の中で、北大生協に関し「採用難、人材不足が極めて深刻になりつつある」と問題意識は持たれていらっしゃると思いますが、解決に向けた取組は検討されていますでしょうか。食堂では人出不足のため、しばらく麺の提供がなくなりました。このままだと生協利用している人たちが利用する意味がないと離れてしまうのではないのでしょうか。無人化も含め、少ない人出でもサービスを提供することができる対策を検討するとともに、今働いてくださっている方々への負担も考慮した運営体制も考える必要が出てきているのではないかと思います。再生三カ年計画からは人手不足対策に向けた取組はあまりわからなかったもので、ご検討いただければ幸いです。

(教職員総代より)

A 1 1 .

3 月から北部食堂でセントラルキッチン稼働させています。現在は主として購買部の内製弁当製造を行っていますが、徐々に他の食堂で使用するメニューの調理も行っています。本格稼働させることで、各店舗で調理する人員を確保せずとも出食できるようにしていきたいと考えています。

Q 1 2.

契約職員です。昼休みは 12:15~13:00 と短いため、この時間に食堂を利用することは難しく、また自分で弁当を作って自室、デスクで食べた方が時間と費用の節約になるため食堂の利用はありません。17 時以降に夕食用のおそうざい（コロッケや煮物など）が買って帰れる。翌日用に食事パン（調理パンや菓子パンではない）を買う。書籍部で立ち寄って何か買えるのであれば利用したいと思います。今のような自身の業務時間内のみでの営業では、生協の利用は厳しいです。

(教職員総代より)

A 1 2.

コロナ禍以降の利用客数減、人で不足により営業時間を確保できておらず申し訳ありません。現状では営業時間を長くすることが難しい状況となっています。昼食対応に関しましては、農学部購買店では今年度から内製商品（ベーグルサンド、コップパン）に力を入れております。ぜひご利用ください。

Q 1 3.

- ① (第 1 号議案・P5.3-2-2)各食堂でどのようなオリジナルメニューを展開されていたのでしょうか。情報が記憶になく申し訳ありません。各 SD や総代会議、LINE など案内頂けると幸いです。
- ② (第 1 号議案・P6.4-2)未だに生協での発注依頼がよくわかっておりません。今一度案内頂けると幸いです。
- ③ (第 2 号議案・P46)留学生委員会の取り組みはどういった方針になりますでしょうか。
- ④ (第 2 号議案・P43)食を支える部分は重要かと思えます。生協ならではの食堂部門を活用した取り組みを期待しております。蛇足ですが、P42[1]は外部として生協外の状況を述べているかと思えます。リニューアル計画はこの項目とズレているかと思いました。

(教職員総代より)

A 1 3.

- ① 北大生協の独自企画として、「アイヌフェア」ではチタタブ風子ポロ丼やおハウなど普段提供していないようなメニューを提供しました。また、「愛媛フェア」や学生員との合同企画の「二外フェア（第二外国語の国のメニュー企画）」ではその土地のご当地メニューを提供しました。その他にも「土用の丑の日のうな丼」「旨辛フェア」など様々企画を実施しました。今後の情宣の方法に関してはより伝わるよう公式 LINE の活用など検討いたします。
- ② 北大生協では文房具やパソコン、プリンター、周辺機器を数多く取り扱っております。パソコンについてはカスタマイズにも対応しております。また、北大生協は教員発注(納品照合票)にてご依頼承ることが出来ますので電話やメール以外にも直接研究室にお伺いしご要望にあった商品をご提案させて頂きたいと思っておりますので気軽にお声がけ頂けると幸いです。
- ③ 議案に入れることが出来ておりませんでした。昨年度に再建してからようやく 1 年となる留学生委員会は、まだまだ手探りの活動の状況です。留学生のための交流の場であるウェルカムパーティの実施をまずは継続することの他、留学生同士の交流や、生協の店舗の利用方法などを伝える冊子の作成を通じて、留学生の大学生活をより良くしていくことを目指します。
- ④ 食堂の運営はもちろんのこと、セントラルキッチンを活用、コップパンの製造など今後も試行錯誤し、新たな取り組みや購買の内製商品の強化を行い、組合員の食生活のサポートに努めます。

以上



つながる元気、ときめきキャンパス。

北海道大学生生活協同組合



北海道大学生生活協同組合 理事会室
〒060-0808 札幌市北区北8条西7丁目1-1
seikyou@coop.hokudai.ac.jp
<https://www.hokkaido-univcoop.jp/hokudai/>